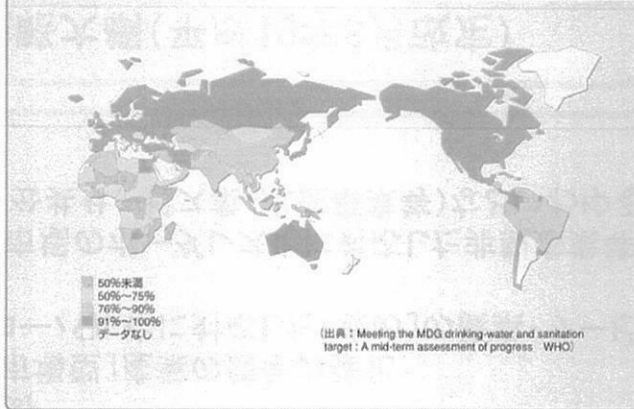


④水道分野の国際貢献の推進

【背景】 ○国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けた動き

○安全な飲料水を利用できない人口(2004年度現在)
アジア・太平洋地域:7億人(世界約11億人の約60%)



(出典: Meeting the MDG drinking water and sanitation target: A mid-term assessment of progress - WHO)

国連・ミレニアム開発目標(MDGs)[2000年]

2015年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。

※国連・ミレニアム開発目標(MDGs)とは、2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要国際会議等で採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてとりまとめられたもの

世界的な取組

平成20年5月 第4回アフリカ開発会議(TICADIV)

平成20年6月 経済財政改革基本方針2008(骨太の方針)

世界、特にアフリカの水危機解決への貢献を目的として、井戸の整備などに携わる「水の防衛隊」を派遣することが示された。

平成20年7月 北海道洞爺湖サミット

MDGsのうち特に保健、水、教育分野について、G8各国が協力しMDGsの達成に向けて取組を行うことが再確認された。

水分野の取組としては、アフリカ及びアジア太平洋地域の水と衛生の問題解決に向け、G8水の専門家会合を設置。本会合において、MDGs達成のため平成15年エビアンサミットで合意された水行動計画の進捗状況評価と実施戦略を次期イタリアサミットまでに策定することとなっている。

※平成20年12月16~17日に帯広で第1回G8水の専門家会合を開催予定